令和５年度愛知県特定健診・特定保健指導研修会（事業運営編）
研修実施報告

１．日程・内容等について

【目的及び趣旨】

特定健診・特定保健指導の企画運営、指導者のリーダー的立場にある者が、健康課題に基づいた効果的な事業計画（評価を含む）を立案でき、円滑に進めるためのマネジメント能力を身につける

【日時】

令和５年 12 月 15 日（金）午前 10 時から午後５時まで

【対象者】

愛知県内の医療保険者、健診・保健指導機関、市町村、事業所等で、特定健診・特定保健指導の事業運営に携わっている職員のうち、(1) もしくは (2) に該当する者

(1) 保健指導チームのリーダー的立場にある専門職

(2) 特定保健指導事業の運営責任者（事務担当者等）

【方法】

web 会議システム（Zoom）を利用したライブ配信型研修

【カリキュラム】

計 360 分

時間	内容	ねらい
研修会前 (30分)	研修課題（ワークシート2への記入）	特定健診・特定保健指導事業における現在の取り組みや、データヘルス計画や過去の事業評価をもとに、課題を把握し整理する。
9:30	受付（9：55までに必ず入室してください）	
9:55	受講前アナウンス	
10:00	開会・主催者挨拶・オリエンテーション	
10:10 (70分)	講義 「データ分析による健康課題の把握と保健事業の展開について」 人間環境大学看護学部・大学院看護学研究科 教授　巽 あさみ 氏	保健事業の目的やデータヘルス計画等生活習慣病対策の全体像を理解する。 データ分析による健康課題の把握から、特性を踏まえた事業展開について学ぶ。
(10分)	演習（ワークシート1への記入）	
11:30	休憩	
11:40 (50分)	講義 「特定健診・特定保健指導の概要と第4期の見直しについて」 あいち健康の森健康科学総合センター健康開発部 保健師　佐々木 伸一	特定健診・特定保健指導の理念・制度・仕組み及び第4期の見直しの概要について理解する。
(5分)	演習（ワークシート1への記入）	
12:35	昼休憩	
13:30 (30分)	事例紹介（事業所健康づくり担当部署） 「コラボヘルスと体制構築による保健指導実施率向上の取り組みについて　」 瀬戸市行政管理部人事課人材育成係 係長　若村 和輝 氏	事業所健康づくり担当部署、保健指導機関のそれぞれの立場における特定保健指導実施率向上のための取り組みを知る。 他機関等との連携、ICTの活用等について学び、今後の体制づくりに役立てる。 なお、保健指導機関の事例紹介には、令和4年度愛知県公衆衛生研究会　において、知事表彰を受賞した発表内容を含む。
(5分)	演習（ワークシート1への記入）	
14:05 (30分)	事例紹介（保健指導機関） 「ICT（ビデオ通話システム）を活用した遠隔面接の実際と効果」 公益財団法人愛知県健康づくり振興事業団 管理栄養士　木村 美奈	
(5分)	演習（ワークシート1への記入）	
14:40	休憩	
14:50 (80分)	課題解決型演習（グループディスカッション） 「研修でのヒントを活かして、効果的な事業を検討する」	保健事業の課題をリストアップ、その原因を考え、実行可能な対策を検討する。
16:10	休憩	
16:20 (30分)	全体のまとめ・質疑応答	全体で意見を共有し、自機関での保健事業に役立てる。
16:50	事務連絡	
17:00	閉会	
研修会後 (15分)	演習まとめ 本研修会をうけて課題、取り組み、改善策についてまとめる (ワークシート1.2)	講義や事例紹介、課題解決型演習にて共有した情報をもとに、特定保健指導事業の評価をし、改善策を考える。

本年度は「特定健診・特定保健指導制度について理解し、効率的・効果的な保健事業のマネジメントについて考える」をテーマに、4 人の講師に講義や事例紹介をしていただきました。その後、課題解決型演習を行いました。

「データ分析による健康課題の把握と保健事業の展開について」

人間環境大学看護学部、及び大学院看護学研究科　教授巽様より、データ分析と適切な解釈で自組織の健康課題を把握し、PDCA サイクル（計画・実施・評価・改善）を意識した保健事業の展開について、ご講義いただきました。SMR（標準化死亡比）という具体的なデータ分析の手法やデータヘルス計画と一体化させた保健事業の展開、個人や集団、事業などに応じた評価項目について学びました。

「特定健診・特定保健指導の概要と第 4 期の見直しについて」

あいち健康の森健康科学総合センター指導者養成課　主任佐々木より、本制度の基本的な考え方、及び第 4 期計画の見直しの概要について講義しました。アウトカム評価が重視される評価体系へと見直しがされることと合わせ、保健指導の見える化や ICT の活用が推進されることなどを説明しました。

「コラボヘルスと体制構築による保健指導実施率向上の取り組みについて」

瀬戸市行政管理部人事課人材育成係　係長　若村様より、事業所と保険者が積極的に連携し､健康づくりを実施する｢コラボヘルス」の取り組みついて、事例紹介いただきました。職員の厚生に関する計画を活用し、市役所内での保健指導実施や職務に専念する義務の免除などと合わせ、保険者、保健指導実施者と役割分担し、令和 4 年度保健指導実施率が 87.8%まで向上したことをお話しいただきました。

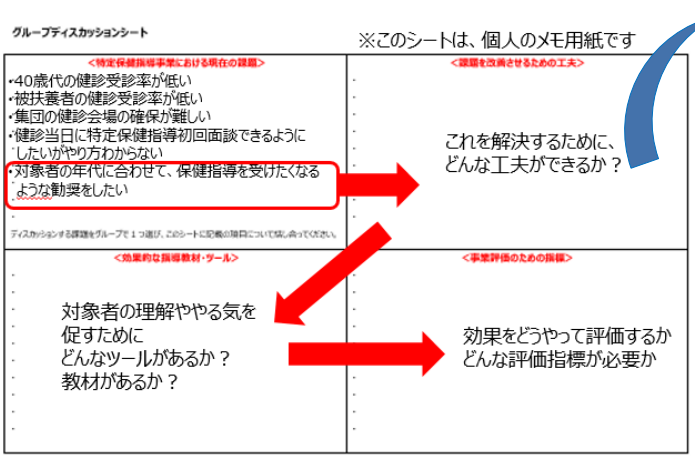
「ICT（ビデオ通話システム）を活用した遠隔面接の実際と効果」

公益財団法人愛知県健康づくり振興事業団健康支援事業部健康支援事業課　管理栄養士　木村より、ビデオ通話システムを活用した遠隔面接について事例紹介しました。必要物品や教材の準備、保健指導の質の向上の取り組み、個人情報の取り扱いなどを具体的に紹介した上で、遠隔面接による効果は対面と同等であること（令和 4 年度愛知県公衆衛生研究会知事表彰受賞内容）等について説明しました。

課題解決型演習「研修でのヒントを活かして、効果的な事業を検討する」

1 グループ 4～9 人、計 10 グループに分かれてグループディスカッションをしました。グループは参加者の立場ごと、医療保険者、健診・保健指導機関、市町村、事業所に分けました。それぞれのグループで、特定保健指導事業における現在の課題を抽出し、その中から深堀りしたい課題について、改善させるための工夫や効果的な指導教材・ツール、事業評価のための指標について話し合いました。約 80 分のグループディスカッション後、各グループで話し合った内容を全体で共有し、立場によって視点や活用できる資源が違うことを改めて認識しました。

各グループで課題解決に向け、話し合う

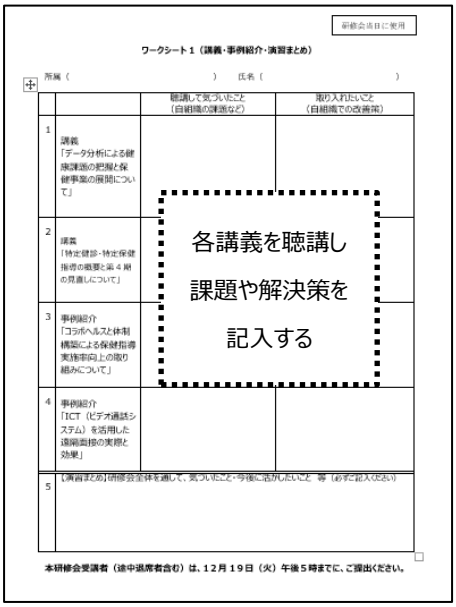


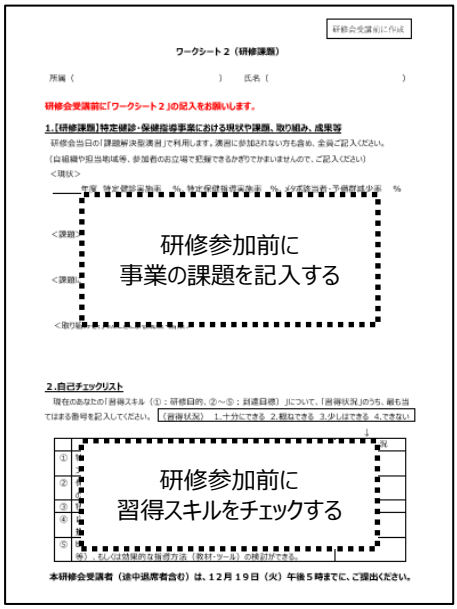
話し合った内容を全体で共有

（配信会場の様子）

研修会前後では、下記ワークシートを用いて、研修会に参加していただきました。

ワークシート 1（左）は、各講義受講後、気づいたことや今後取り入れたいことを記入し、グループディスカッションで活用しました。ワークシート 2（右）は、研修受講前に「特定健診・特定保健指導事業における現状や課題、取り組み、成果等」「自己チェックリスト（習得スキル）」を記入しました。





２.申込について

【申込者数】75 人（男：10 人、女：65 人）

【所属別（人）】

医療保険者	健診・保健指導機関	市町村	事業所	その他（県）
16	14	27	17	1

【職種別（人）】

保健師	管理栄養士	事務職	看護師
44	10	18	3

【保健指導の計画・評価に関する経験年数別（人）】

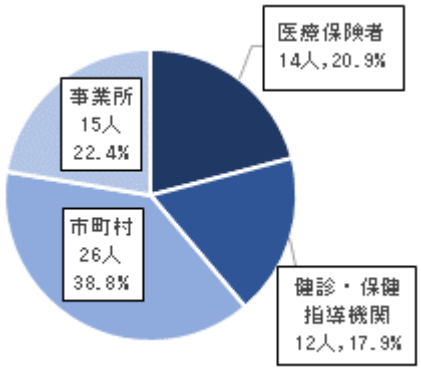
1～2 年	3～6 年	7～12 年	13 年以上	未回答
17	13	6	2	37
保健指導経験年数上「初任者」に相当	※第 3 期（2018～2023 年）経験相当	※第 2 期（2013～2017 年）経験相当	※第 1 期（2008～2012 年）経験相当	

※特定健康診査等実施計画

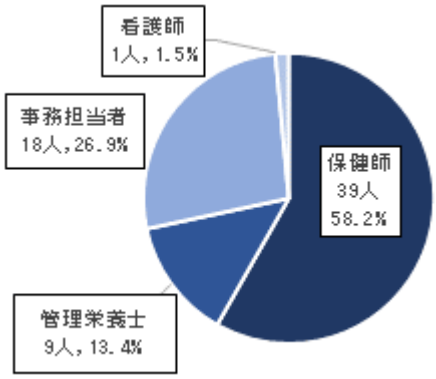
３.アンケート結果について

【回収状況】参加者 70 人のうち、67 人から回収（回収率 95.7%）

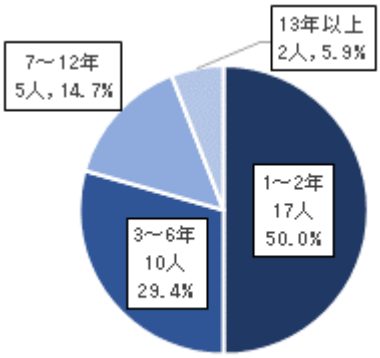
（１） 回答者の所属



（２）職種

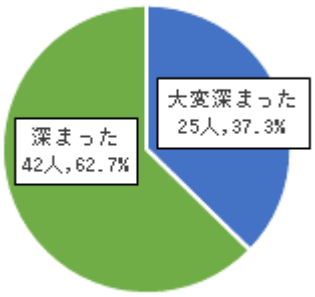


（３）経験年数（n=34）

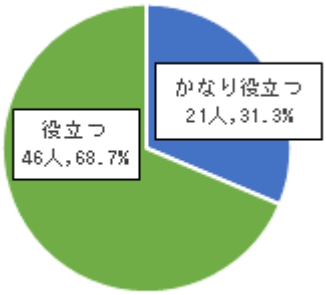


【質問項目のまとめ】

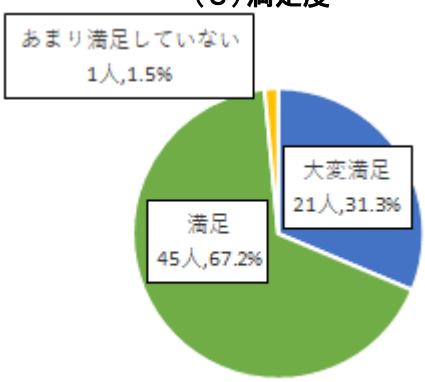
（１）知識の深まり



（２）役立ち度



（３）満足度



（４）参加者の感想（自由記載から一部抜粋）

＜研修全体について＞

・データ分析が有意義であることを学び、データの分析を強化する必要があることがわかりました。

・特定健診・特定保健指導事業に携わる、市町村、事業所、医療保険者、健診機関などの様々な関係者の方からの状況や思いを知る機会ともなり、有意義な研修でした。今回の研修の学び（データの分析や解釈など）を地域課題の明確化に活かせるものであると思います。地域課題を明確にし、地域活動の中で健診受診の行動に結びつくような活動に繋げていきたいと考えています。

・第４期の概要が知れて良かったです。

・医療保険者ごとに課題はそれぞれあると思いましたが、共通している課題もあることに気づけ、有意義な研修でした。

・グループワークで、他社の取り組みを聞くことができてよかった。このような交流の時間を増やしていただけるともっと取り組みに活かしていけると思いました。

・グループディスカッションは、立場別で意見交換ができ、日頃の業務のヒントや役立てそうな情報を沢山いただきました。

・他保険者の方と話をする機会を設けていただきありがとうございました。こんなにも体制・規模・考え方等に違いがあることに驚きました。保険者の義務はあっても誰のための健診・保健指導かを念頭に置いて、仕事はしていきたいと思いました。

＜次回研修会の要望＞

・第４期について、もっと実践的な内容で教えてほしいです。

・ICT を保健所・保健センターで活用する場合の取り組み方について知りたいです。

・第４期特定保健指導の行動変容の評価について、「休養習慣の改善」「その他の生活習慣の改善」について具体的なところが学べると嬉しいです。

・アンケートの質問項目の設定方法　その分析・評価方法について詳しく教えてほしいです。

・データ分析の実施方法、収集するといい情報などをテーマにしてほしいです。

・ナッジ理論の実践について、より具体的に学びたいと思います。

・事業団で使用している保健指導教材を紹介していただきたいです。

・直接、他機関とも関わりたいため、オンライン以外の研修もあると嬉しいです。

・テーマが多く、研修会が 6 時間かかるため、4 時間くらいに短縮してほしいです。その代わり、3 回/年実施に増やしてほしいです。

４.修了状況について

参加者 70 人のうち、全プログラムを受講し、ワークシートの提出、アンケートの回答を確認できた者 59 人（84.3%）に、本研修会の修了証を交付しました。